学校番号	1011

令和８年度　(専)美術科

教科	(専)美術	科目	構成	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術系の大学や専門学校に進学することを考えている人に向けた授業です。デッサン、クロッキー、平面構成（色彩の基礎や表現など）、立体構成など実技試験で必要になる技術について学習します。基礎的な学習が主になりますので進路に向けてより技術を向上させたい場合は各自で自主学習を行うことを推奨します。

2　学習の到達目標

・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，個性豊かで創造的に表すことができる。
・造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり，自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性と美意識を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成して創造的に発想し、構想を練り、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	主体的にデッサンや平面構成等の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	デッサン	・立方体 ・円柱 ・球 ・組み合わせ	a:影と陰を意識できる。 b:立体感を表現できる。 c:意欲的に取り組もうとしている。	作品 プリント	作品 プリント	授業観察 作品 プリント
	クロッキー	・静物 ・人物	a:作品の改善点を指摘できる。 b:表現したい所を描き込めているか、その人物らしさを表現できている。 c:大きく画面を使って描こうとしている。	作品 プリント	作品 プリント	授業観察 作品 プリント
2学期	平面構成①	文字を使った構成	a:色彩の効果を理解している。 b:何を表現したいか明示できている。 c:丁寧に仕上げようとしている。	作品	作品	授業観察 作品
	平面構成②	自由構成	a:画面分割を適正にできている。 b:色彩や構図を効果的に使って表現できている。 c:最後まで諦めずに仕上げようとしている。	作品	作品	授業観察 作品
3学期	立体構成	油粘土を使った構成	a:テーマを理解している。 b:意図に応じた表現ができている。 c:意欲的に取り組もうとしている。	作品 プリント	作品 プリント	授業観察 作品 プリント
	鑑賞	自他の作品を鑑賞	a:良さを発見できる b:適切に表現できる c:意欲的に取り組もうとしている。	リポート	リポート	授業観察 リポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度